

2022年3月15日

三井化学株式会社

高純度テレフタル酸（PTA）の国内生産停止について

三井化学株式会社（本社：東京都港区、社長：橋本 修、以下「当社」）は、当社岩国大竹工場の高純度テレフタル酸（以下、「PTA」）プラントを2023年8月（予定）に停止いたします。

当社は1958年に岩国大竹工場にてテレフタル酸製造を自社技術により工業化、精製工程追加と生産能力の向上を図りながら、最盛期には国内では75万トン/年を製造、海外輸出も行って参りました。2000年代半ばより中国を中心にPTA製造設備が急増し、市況が下落、国内需要も減少するなか、当社はPTA生産能力を削減し、またあらゆる合理化に取り組んで参りましたが、国内でPTA生産を維持するための収益確保が困難と判断いたしました。

当社グループの国内でのPTAの製造は終了いたしますが、GC-M PTA社（タイ法人、当社26%、PTTGCグループ74%出資のJV会社）からPTAを輸入し、当社が販売を行う事により今後も国内での販売体制は維持いたします。

当社は、新たな長期経営計画VISION2030において、PTA事業をベーシック&グリーン・マテリアルズ事業領域の中で再構築を進める事業の一つと位置付けております。ベーシック&グリーン・マテリアルズ事業領域では、全社のサーキュラーエコミー変革をリードするとともに、高機能品拡大と事業再構築による収益変動度の低減を加速し、資本効率性の改善とあわせ安定収益を上げる事業基盤を構築してまいります。

■ 停止するPTA（高純度テレフタル酸）プラントの概要

- ・製造設備：当社岩国大竹工場内
- ・生産能力：40万トン/年
- ・プラント停止時期（予定）：2023年8月

<ニュースリリースに関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

(TEL03-6253-2100、お問い合わせフォーム：https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)